

新型コロナウイルス感染症の影響の開示に関する留意事項

- **新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」とします。）の影響を踏まえ、業績予想の修正等の開示を行う場合は、自社の状況に応じて、事業実績や経営成績に及ぼす影響等について、可能な限り具体的にご説明ください。**

想定されるケース	特に求められる説明内容
感染症の影響により、開示済の業績予想との乖離が生じる場合	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 感染症により生じる具体的な影響やその程度 ➢ 直近予想値を算出した際の前提条件（定量的要因の計画値や指標値など）の変動状況
感染症の影響について、一定の前提条件のもとで業績予想の開示を行う場合	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 予想値を算出した際の前提条件（感染症の具体的な影響や程度、影響が及ぶ期間、対応策など）の内容 ➢ 今後、感染症の動向により、予想値から実績が大きく乖離するおそれがある場合は、業績変動のリスク
感染症の影響を踏まえ、業績予想を「未定」とする場合	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 「未定」とする具体的な理由 ➢ 感染症が経営成績等に与える影響やその程度

※ 次ページで、実際の開示例に基づき、説明のポイントをご紹介します。

- **決算又は四半期決算の内容の開示を行う場合に、感染症に関するリスク情報について、積極的に充実した説明を行うほか、開示済の業績予想等についても、感染症の動向を踏まえた見直しを行う**など、株主・投資者に対する適時、適切な情報提供に努めてください。
- 決算説明会用のプレゼンテーション資料等を用いてより具体的な説明を行う場合は、投資者への適時かつ公平な情報提供の観点から、**決算説明会資料等についても開示資料と併せてT D n e t に登録**するようにしてください。

■ 感染症の影響により、開示済の業績予想との乖離が生じる場合

【来店客数の減少を受けて、業績予想を修正した例】

「1月下旬以降の新型コロナウイルス感染症の国内における感染拡大により、百貨店や駅ビル店舗の来店客数が急激に落ち込む結果となりました。現時点では、感染拡大の収束が見通せず、●月以降も売上高が減少することが見込まれることから、通期連結業績予想数値を以下のとおり修正しております。」

- ✓ 感染症の影響について、直接的な影響(来店客数の落ち込み)、影響の範囲(百貨店や駅ビル店舗)、経営成績に与える影響(売上高の減少)を説明
- ✓ 予想値の前提条件の変動状況(来店客数の落ち込み、●月以降も売上高減少見込む)に言及

■ 感染症の影響について、一定の前提条件のもとで業績予想の開示を行う場合

【影響が及ぶ期間を仮定し、予想値を算出した例】

「A事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う一時休業やイベントの中止など、来客数の減少が見込まれますが、これらの影響が2020年●月まで続くと仮定したものであり、実際の終息時期によっては変動する可能性があります。」

- ✓ 予想値を算出した際の前提条件について、感染症の具体的な影響(A事業の来客数減少)、影響が及ぶ期間(2020年●月まで)を説明
- ✓ 感染症による業績変動リスク(終息時期によって変動)に言及

■ 感染症の影響を踏まえ、業績予想を「未定」とする場合

【店舗休業のため、業績予想を「未定」とした例】

「新型コロナウイルスによる感染拡大の影響により中国各地で多くの娯楽施設や観光施設が政府関連当局の要請もあり臨時休業したままであり、ほとんどの国民が外出を控える状況が続いております。このような中、■■もお客様の来店があまり見込める状況になく、また、従業員の安全も考慮した結果、中国全店(●店)を臨時休業といたしました。このような状況により、当社グループの連結業績予想の算定は難しく、未定といたしました。」

✓ 業績予想を「未定」とする理由について、背景事情(中国の状況)、直接的な影響(中国全店の臨時休業)、影響の範囲(臨時休業とした店舗数)を説明

※本資料記載の開示例は、これまでに開示された業績予想の修正等に係る開示資料から、感染症の影響に関する記述を抜粋したものです。説明すべき具体的な内容は、各社個別の事情・状況によって異なり得ることにご留意ください。